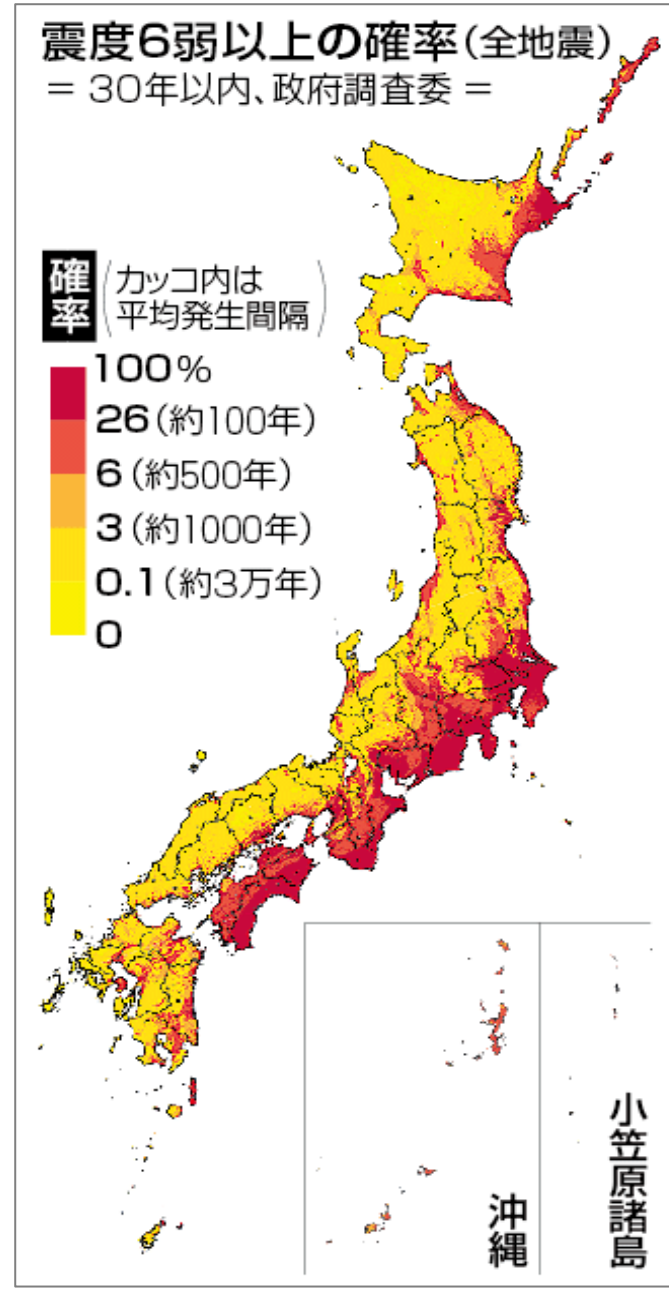


# 熊本地震 LINEでの情報収集が4割 -SNSが安否確認で活躍-

総務省は13日、「熊本地震における情報通信の在り方に関する調査結果」を発表した。調査は三菱総合研究所に委託。調査は熊本地震で震度6強以上であった熊本市、南阿蘇村で実施。被災居住者862件のアンケートでは、2011年の東日本大震災後にリリースされた比較的新しい通信ツールであるLINEの活用が約4割と目立った。

情報収集に利用した手段と時点別の比較では、テレビの地上波放送が震災時は約40%の利用だが、2016年5月16日の本震発生から数日間の応急対応期は約45%、応急対応期から同年5月末までの復旧期が約55%と徐々に上昇。行政機関ホームページは発災時が約10%にとどまるが、応急対応期や復旧期は約20%にまで上昇した。家族・友人・知人等とのLINEはどの時期もほぼ40%で、安定して利用された。家族・友人・知人等のLINE利用は約70%です。携帯電話の利用は約70%です。スマートフォン利用ではスマートフォン利用者が74.4%と高い。家族・友人・知人等からの情報収集を約50%が行っている。

# 今後30年以内に震度6弱以上の地震が発生する確立が上昇



【全国地震動予測地図】国の地震調査研究推進本部(以下、地震本部)は4月27日、今後30年以内に震度6弱以上の激しい揺れに襲われる確率(基準日2017年1月1日)をまとめた「全国地震動予測地図2017」を公表した。それによると、2016年版に引き続き、首都圏直下地震や南海トラフ巨大地震が想定される関東地域、太平洋側沿岸部で高い確率とな

見直して中国地方の一部でも確率が上昇した。都道府県庁の所在地でも千葉市の85%がもつとも高く、横浜市・水戸市がともに81%、高知市74%、徳島市72%、静岡市69%、名古屋市46%と続く。東京都は都庁(新宿区)47%だが比較的地盤が固い地域であり、都内地域によって揺れに大きな差が出るものとみられる。昨年4月に熊本地震が発

生じた熊本は、さらに異なる断層が動く可能性もあることから、2016年版と同じ7.6%(基準日1月1日)から3カ月余で一連の熊本地震が起った)となっている。また、活断層評価の見直しがあった中国地方で特徴的な変化は、山口県山陽小野田市の17.1%で、前回より3.6ポイント上昇、全国でも最も上昇率が高くなった。

なお、今回から、長期評価の結果をもとに、特定の地震が発生した場合、どのくらい強い揺れに見舞われるかを予測した「震源断層を特定した地震動予測地図」の公表も始めている。

今回公表分は、札幌、東京

大阪、名古屋、鳥取、熊本の6地点。震度6弱の激しい揺れをもたらす可能性を見ると、東京都庁ではフィリピン海プレート内部で起きる地震が34%と最も高く、マグニチュード8.9クラスの南海トラフ巨大地震で22.8%。大阪府役所と名古屋役所ではいずれも南海トラフ巨大地震で大阪役所が69.6%、名古屋役所が89.3%。札幌市役所と熊本市役所、鳥取市役所は不特定活断層で30%、50%前後と高い。また熊本の布田川断層帯と日奈久断層帯で起きる地震で熊本市役所が69%以上となる可能性は21.4%としている。地震動予測地図は「確率論」であり不確実さは当然残る。また、国内には知られない活断層は多く残ると推定されている。現時点では色が薄くても(低確率)、また、これまで地震が少なくと言われてきた地域でも、千年、万年単位の自然の営みは人の営みの時間感覚をはるかに超えていることを忘れてはいけません。当面の私たちの課題は、30年以内にはほぼ確実に起こるであろう首都直下地震や南海トラフ巨大地震への対策最優先課題として、耐震化と津波避難対策に全力を注ぐことです。

## 緊急時に役立つLINEの機能

位置情報を知らせる	いつもの機能を活用する
<p>■避難場所など、いざという時に使う情報は「ノート」に記録</p> <p>避難場所や緊急時の対応など、忘れてはいけない大切な情報は「ノート」機能に保管すると、いつでも見返すことができます。</p> <p>■「ここはどこ!？」自分の居場所が分からなくても知らせることができる位置情報送信機能</p> <p>LINEのトーク(メッセージ)で自分の居場所の住所と地図を送ることができます。</p> <p>■みんなの居場所が分かるアプリ「LINE HERE」</p> <p>部活やご近所さんなど大人数の場合、リアルタイム位置情報共有サービス「LINE HERE」が便利です。</p>	<p>■全員に現状を知らせる「ステータスメッセージ」</p> <p>「ステータスメッセージ」は、「友だち」ページで自分の名前の横に表示されます。</p> <p>■緊急連絡網として「グループトーク」を利用</p> <p>LINEのトーク(メッセージ)機能は、複数人で同時にメッセージの送受信をすることができます。</p>
<p>LINEでつながっている家族や友だちに、災害時の自分の状況を知らせる機能ができました。</p> <p>大規模災害が発生した際、全ユーザーに表示されるLINEのメッセージから、自分の状況をタイムラインで知らせることができます。</p>	<p><b>緊急時の機能を使う</b></p>

## ⚠️ 防災新聞が届いたら構-kamae-に潜る練習を!! ⚠️



防災家具は地震が発生した際にきちんとテーブルやベッドの下に潜らなければ、効果を発揮しません。「設置しているから安心」で済ませず、普段から潜る練習をしましょう!



**防災新聞**

発行者  
関西ボロン株式会社

兵庫県丹波市  
山南町草部448-1  
電話 06-6467-8333  
ホームページ  
bousai-ansin.com

「いいね!」  
お願いします



# 「体験型防災アトラクション」常設公演開始！

兵庫県の北淡震災記念公園で**2017年5月28日（日）**より常設開始



平成7年1月17日、午前5時46分マグニチュード7.3、最大震度7を記録する兵庫県南部地震が発生しました。

6,434名の犠牲者と甚大な被害をもたらした地震災害は「阪神・淡路大震災」と名付けられました。

北淡震災記念公園は地震を起こした「野島断層」を保存し、震災を後世に伝えるとともに、今後の防災に役立てるために、平成10年4月2日に開園しました。

## 体感型 防災アトラクション®【LIFE LINE】

第3回 国連防災世界会議に出展を果たし現在、全国にて展開中！

エンターテインメントと防災教育が融合した、日本初、体感型 防災教育コンテンツが誕生！音と映像を駆使した、臨場感あふれる災害現場が出現。仲間と協力し全ての情報を集め、制限時間内に脱出せよ！



### ■体験型防災アトラクションとは

地震・大雨・噴火・津波・・・など、自然災害が多発している今、一人ひとりが防災の意識を持つことがこれまで以上に重要となってきました。脱出アトラクションの面白さはそのままに、さらに災害現場や避難所でのシーンでの「防災シュミレーション」として活用できる、日本初のプログラムが「LIFE LINE」です。

団体予約・ご相談はフリーダイヤルまで

☎ 06-6467-8333

# 「車中泊避難」の利点と課題

災害時の車移動は原則控えることが基本ですが、しかしそうも言っていない場合もあります。

「避難場所まで遠い」「乳幼児がいる」「足腰の弱い高齢者がいる」「避難所の定員がいっぱいで入れない」等

このような場合、車で避難するというよりは「車に避難（車中泊）」することになります。

利点	注意点
<p>●短期間であれば避難所よりも快適に過ごせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>車の中は狭いイメージもありますが、ラジオも聞けますし、冷暖房も効きますので、短い期間であれば快適に過ごすことができます。</li> <li>災害時に混乱している悪条件の中では、避難所にいるよりも精神的に落ち着いて過ごすことができます。</li> <li>家族で過ごせばプライベートな空間も保てて、鍵もかけられることから防犯上の観点からも安全に過ごすことができます。</li> </ul> <p>■車の中にあると助かるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毛布</li> <li>飲料水、非常食</li> <li>携帯トイレ</li> <li>医薬品</li> <li>携帯電話の充電器</li> <li>雨具、着替え</li> </ul>	<p>●エコミークラス症候群に注意</p> <p>・エコミークラス症候群は長時間同じ姿勢でいることで、血液の流れが悪くなり、血管の中に血栓ができ、その血栓が血液中に流れ、肺の動脈を詰まらせてしまい、最悪の場合には死に至るケースが多い。</p> <p>■エコミークラス症候群になりやすい人の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>肥満の人</li> <li>40代以上の女性</li> <li>糖尿病の持病がある人</li> <li>身長の高い人</li> <li>喫煙者</li> </ul> <p>■予防法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水分補給をこまめに摂る</li> <li>適度な運動とマッサージ</li> <li>足を伸ばして寝られる場所を確保する</li> </ul>

## 災害時の豆知識～vol.37～

外にいる場合、ビルの中の方が安全

### ■最大の恐怖は降り注ぐガラス

都会で大地震に遭ってしまった場合、最大の恐怖は降り注ぐガラスとなります。高層ビルが立ち並ぶ街では、ビルのガラスが割れて降ってきます。

### ■落下速度は時速40～60km

風圧の関係から、尖った方を下にして時速40～60kmの猛スピードで落ちてくるので、手足はもちろん、首すらも切断される恐れがあります。

### ■ビルは揺れるが倒壊の可能性が極めて低い

特に高層階のビルは地上よりも揺れますが、よほど古い建物ではなければ、木造の建物よりも倒壊しにくいいため、外にいるよりもビル内で揺れが収まるまで待機していたほうが安全です。



防災新聞

発行者

関西ボラコン株式会社

兵庫県丹波市

山南町草部448-1

電話 06-6467-8333

ホームページ

bousai-ansin.com

